

伝説のクラリネット奏者 ジョージ・ルイス

ジョージ・ルイスは1963年来日、本場のニューオーリンズ・ジャズを伝えて日本中を熱狂させた名曲「バーガンディ・ストリート・ブルース」は多くの日本人の魂を揺さぶった
初来日から半世紀近く、そして没後40年近く、今なお多くのファンの心を引きつけるクラリネット
その音のルーツはどこにあるのか……著者ドロシー・テイトはルイスの音の源流を求めて
8歳でセネガルから奴隷船に乗せられた少女にまでさかのぼる
ルイスの伝記・決定版として名のみ知られていた「CALL HIM GEORGE」幻の名著、本邦初訳!

ドロシー・テイト 小中 セツ子 訳「ジョージ・ルイス」

序文 河合良一 / 解説 今高英一 今高英一氏による未公開写真、オリジナル・イラストを多数収録



初めてバーガンディ・ストリート・ブルースを聴いた時の衝撃を、私は忘れない。シンプルだが魂に触れる強く美しい音。どうしてこんな音が出せるのだろうか……その答えがこの本の中にあった。
(訳者／あとがきより)

著者はニューオーリンズという特殊な環境での奴隷時代から家族の生活を、冷徹なまでに見詰める……貧しくとも力強く生き抜いたジョージ・ルイス……瘦せて小柄で本来病弱な虚弱体質的でありながら、精神力でジャズに拘わる凄さが全編から読み取れる。
(今高英一／解説より)

- A5判 上製本 320頁 ● 定価 2,100円 送料 400円(送料は何冊でも400円です)
- 郵便振替でお申し込みください 1冊お申し込みの場合、送料込み 2,500円となります 口座番号 00920-5-307551 加入者名 ソリトン
- 書店、ライブハウス、CDショップ、コンサート会場でも販売しております 販売店等につきましては、ホームページをご覧ください
メールでのお問い合わせもホームページから可能です